

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2021. 6. 14

下水道機構の『新技術情報』 第459号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

6月14日は、勝鬨（かちどき）橋が完成した日です。

1940年の今日、東京都中央区にある隅田川に勝鬨橋が完成しました。

すべて日本人の手によって設計施工を行った「東洋一の可動橋」と呼ばれた橋だったようです。

設置された当初は1日に5回ほど跳開されていたようで、しかも、1947年から1968年まで都電が走っていたようで、1967年で跳開は最後になったようです。

個人的な勝鬨橋の印象は、月島の辺りで道に迷うと必ず出会う橋。という印象です！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第459号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

- ・緊急事態宣言発出に関する下水道機構の対応について
- ・第397回技術サロンを7月8日にZoomウェビナーで開催します！
- ・「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」の共同研究者募集について

##### ■機構の行事予定

- ・技術マニュアル活用講習会を6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！

##### ■Tea Break

- ・テレワークにつき自宅から  
(WLBさんからの投稿です)

##### ■ピックアップ！機構情報

- ・トピックス  
(水・空間・エネルギー資源を活用し、新たな価値を創造 名古屋市上下水道局)
- ・ユーザーレポート  
(県と市町が一体となった雨天時浸入水対策 滋賀県琵琶湖環境部下水道課)

##### ■はしわたし

- ・東京大学 加藤裕之さんから「第3回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のお知らせです！

##### ■国からの情報

- ・6/14付下水道ホットインフォメーション

●緊急事態宣言発出に関する下水道機構の対応について

緊急事態宣言延長に伴い6月1日から6月20日までの間、下水道機構では原則在宅勤務となります。

つきましては、電話連絡等で連絡がつきづらくなる事が予想されますので、下水道機構ホームページなどを参考にして、お急ぎでない場合はメールでご連絡ください。

●第397回技術サロンを開催します！

日 時：令和3年7月8日(木) 16:00~17:00

場 所：Zoom ウェビナー

講演者：東京ガス株式会社 詳細調整中

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon397>

●「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」の共同研究者募集について

「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」の共同研究者募集を開始しました。

募集締め切りは令和3年6月30日(水)正午です。

※詳細はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2021-05-24-collaboration1>

---

。 。 。

機構の行事予定

。 。 。

●技術マニュアル活用講習会を6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術資料等：

「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」

「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する技術資料」

「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディに関する技術資料」

【日 時】 令和3年6月24日(木) 13:30~16:30

【場 所】 Zoom ウェビナー

【参加費】 無料

【定 員】 500名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2021>

---

。 。 。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●テレワークにつき自宅から

(WLBさんからの投稿です)

当機構では、新型コロナウイルス感染防止を主目的に、テレワークや時差出勤等が積極的に導入・推進されています。

昨年度から籍を置いている私としては非常にありがたく、だからこそ、パフォーマンスを落とすことなく業務を遂行することを肝に銘じています。

また、こういうときの前向きな発想は大事だと思っており、現在の新たな働き方が、感染症の終息が見えた後も、働き方改革の一環として定着・発展していくといいなと思っています。

。○○。

ピックアップ！機構情報

(下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021. 1 冬季号の中から記事をご紹介します)

。○○。

●トピックス

(水・空間・エネルギー資源を活用し、新たな価値を創造 名古屋市上下水道局)

名古屋市上下水道局が取り組んだ、露橋水処理センター(処理能力80,000m<sup>3</sup>/日)の全面改築、高度処理の導入、再生水の多目的利用、施設の上部空間の活用などの一連の取り組みは令和元年度(第12回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」でグランプリを受賞し、全国的に大きな注目を集めました。

今回は、名古屋市に伺い、露橋水処理センター改築までの経緯や現在の使用状況についてお話しいただきました。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-06-14-quarterly1>

●ユーザーレポート

(県と市町が一体となった雨天時浸入水対策 滋賀県琵琶湖環境部下水道課)

滋賀県は、関連する市町とともに流域下水道の雨天時浸入水対策に取り組んでいます。現在、流入水量の約15%程度が不明水であり、不明水量はここ数年は横ばい傾向となっていますが、流域下水道の全ての処理区で分流式下水道を採用していることもあり、不明水は大きな課題となっています。また、今年度の策定・公表を目指している「滋賀県下水道第2期中期ビジョン」(計画期間=令和3~14年度)の中でも、不明水の対策を行っていくことを掲げています。

今回は、滋賀県琵琶湖環境部下水道課に、現在までの取り組みや今後の展望について伺いました。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-06-14-quarterly2>

下水道機構情報 Vol. 16 No. 32 2021. 1 (最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly32>

WEB版機関誌下水道機構情報 Plus+ 19号(最新刊)はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter19>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

---

。○○。  
はしわたし（みなさまの情報交流の場です）  
。○○。

---

●東京大学 加藤裕之さんから「第3回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のお知らせです！

「第3回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のご案内（東京大学 下水道システムイノベーション研究室）

◆日時

2021年7月14日(水) 15:00~17:00 (Zoom ウェビナーによるオンライン開催)

◆プログラム

<https://www.envsil.t.u-tokyo.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2021/06/49c278e9c822e9486ec1851ee0ee27a9.pdf>

◆参加申込

<https://forms.gle/9GNvcfeSwbDfokE5A>

◆テーマ

「水産業から下水道システムによる地域資源循環を考える」

◆概要

東京大学下水道システムイノベーション研究室のセミナーでは、未来のインフラについて産・官・学そして市民と考えていきます。第3回は日本の水産業の現状と展望についての講演、そして地域資源や下水道システムを用いた養殖等について有識者より語っていただきます。

◆講演者

1. 東京大学大学院農学生命科学研究科国際水産開発学研究室 教授 八木 信行 氏  
「日本の水産業とスマート養殖の展開～漁業関係従事者の減少・高齢化、消費者の魚離れなどの中、先端技術の活用による課題解決の可能性について考える～」
2. 高知大学農林海洋科学部海洋資源科学科水族栄養学研究室 准教授 深田 陽久 氏  
「食品残さを用いた養殖魚の餌作り」
3. 一般財団法人鶴岡市開発公社 常務理事(前・鶴岡市上下水道部下水道課) 有地 裕之 氏  
「下水道システムを活用した鮎養殖への挑戦」

◆進行

東京大学下水道システムイノベーション研究室 特任准教授 加藤 裕之 氏

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

---

国からの情報

。 。 ○ 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====  
下水道ホットインフォメーション（2021. 6. 14 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

=====

若葉の頃も過ぎ、東京では蒸し暑い日が続いています。自宅近くの公園を歩いていると、緑が生い茂り、夏の訪れを感じる今日この頃ですが、皆様におかれては体調を崩されないようご自愛ください。今週は、脱炭素ロードマップ策定などのニュースをお知らせします。次号は来週月曜日の送信を予定しております。緊急事態宣言は20日までの予定で、G7サミットがノーマスクで行われるなど、日常生活を取り戻す動きも出始めており、期待したいところです。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 国・地方脱炭素実現会議（第3回）（内閣官房）
- 令和3年度「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ」対象団体の募集を行います！（国土交通省）
- 第25回下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会（国土交通省）
- 「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画2021」を決定（国土交通省）
- 第3回「下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類改訂検討委員会」をWEB会議で開催（国土交通省）
- 令和3年度 技術マニュアル活用講習会を6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！（日本下水道新技術機構）
- 「第3回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のご案内（東京大学 下水道システムイノベーション研究室）
- 木津川タウンアセットマネージャー養成講座（（一社）日本アセットマネジメント協会）

=====  
○ 国・地方脱炭素実現会議（第3回）（内閣官房）

6月9日、第3回国・地方脱炭素実現会議（第3回）が開催され、地域脱炭素ロードマップがとりまとめられました。

（総理発言）

[https://www.kantei.go.jp/jp/99\\_suga/actions/202106/09datsutanso.html](https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/actions/202106/09datsutanso.html)

（会議資料）

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/dai3/gijisidai.html>

※地域脱炭素ロードマップ案（下水道関連の記載）

（7）地域の生活・循環経済を支えるインフラ

- ② 上下水道施設の脱炭素化に向けた施設の更新・集約再編等
- ③ 広域的・効率的な下水道バイオマス等の有効利用による創エネ等の推進
- ④ 下水熱の周辺地域内での活用
- ⑩ 公共投資の判断時の費用便益分析における CO2 排出の内部化

○ 令和3年度「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ」対象団体の募集を行います！（国土交通省）

下水処理場は、生ゴミ等の地域で発生するバイオマスを集約することで、効率的なエネルギー利用や地域の資源循環、雇用創出が期待されます。

2030年の温室効果ガス46%削減目標、2050年カーボンニュートラルの達成に向けては、バイオガス等の地域由来のエネルギーのさらなる活用が重要となります。さらには、近年頻発する災害に対応するため、下水処理場のエネルギー供給施設としての活用も可能です。

これらの取組の案件形成を支援するため、国土交通省は、昨年度に引き続き、「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業」対象団体を募集します。

（報道発表資料）

[https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo\\_sewage\\_tk\\_000720.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000720.html)

○ 第25回下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会（国土交通省）

令和3年6月8日（火）に開催した第25回下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会の資料等を掲載致します。

[https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo\\_sewage\\_tk\\_000382.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000382.html)

【検討会資料】

- ・官民連携に関する社会資本整備政策課の支援施策  
（国土交通省総合政策局社会資本整備政策課）
- ・官民連携に係る最近の動向について（国土交通省下水道部）
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向けた最近の動向と  
下水道事業における取組（国土交通省下水道部）
- ・三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業について（神奈川県三浦市）
- ・管路包括におけるDXの活用について（愛知県豊田市）
- ・職員のワークショップにおける官民連携方針の検討について  
（神奈川県葉山町）

○ 「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画2021」を決定（国土交通省）

6/10に「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画2021」が決定、公表されました。

昨年12月に策定された政府全体の方針である「インフラシステム海外展開戦略2025」を踏まえ、「ポストコロナを見据えたデジタル技術の活用」、「地球規模での気候変動への対応などによる経済と環境の好循環の実現」、「FOIPへの寄与」を取組を強化すべき新たな課題と位置付け、これらの課題に依っていくための主な施策を策定しました。

また、下水道分野を含む分野ごとの取組についても記載されています。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo05\\_hh\\_000252.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo05_hh_000252.html)

- 第3回「下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類改訂検討委員会」をWEB会議で開催（国土交通省）

気候変動を踏まえた計画降雨等の設定及び内水浸水対策の推進、内水浸水想定区域図の作成促進のための手法等について検討し、ガイドライン類を改訂するため、有識者等による第3回検討委員会を6月8日（火）に開催しました。

令和2年度、下水道による内水浸水対策の推進・強化について、「気候変動を踏まえた都市浸水対策に関する検討会」提言及び「下水道政策研究委員会制度小委員会」報告がとりまとめられており、当該提言等の内容を踏まえて、

- ◆気候変動の影響を反映した計画への見直し

- ◆内水浸水想定区域図作成・公表・周知の加速化

に向け、下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類の必要な見直しを行うことを目的とした本検討会を令和2年12月7日に設置しました。

これまでの議論等を踏まえて、下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類改訂（案）などについてご意見を伺いました。

（会議資料）

[https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo\\_sewage\\_tk\\_000698.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000698.html)

- 令和3年度 技術マニュアル活用講習会を6/24(木)にZoomのウェビナーで開催します！（日本下水道新技術機構）

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術資料等：

「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」

「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計に関する技術資料」

「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディに関する技術資料」

【日 時】令和3年6月24日（木） 13：30～16：30

【場 所】Zoom ウェビナー

【参加費】無料

【定 員】500名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2021>

- 「第3回 下水道イノベーションセミナー@本郷」のご案内（東京大学 下水道システムイノベーション研究室）

- ◆日時

2021年7月14日（水）15:00～17:00（Zoom ウェビナーによるオンライン開催）

- ◆プログラム

<https://www.envsil.t.u-tokyo.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2021/06/49c278e9c822e9486ec1851ee0ee27a9.pdf>

◆参加申込

<https://forms.gle/9GNvcfeSwbDfokE5A>

◆テーマ

「水産業から下水道システムによる地域資源循環を考える」

◆概要

東京大学下水道システムイノベーション研究室のセミナーでは、未来のインフラについて産・官・学そして市民と考えていきます。

第3回は日本の水産業の現状と展望についての講演、そして地域資源や下水道システムを用いた養殖等について有識者より語っていただきます。

◆講演者

1. 東京大学大学院農学生命科学研究科国際水産開発学研究室 教授

八木 信行 氏

「日本の水産業とスマート養殖の展開～漁業関係従事者の減少・高齢化、消費者の魚離れなどの中、先端技術の活用による課題解決の可能性について考える～」

2. 高知大学農林海洋科学部海洋資源科学科水族養学研究室 准教授

深田 陽久 氏

「食品残さを用いた養殖魚の餌作り」

3. 一般財団法人鶴岡市開発公社 常務理事

(前・鶴岡市上下水道部下水道課)

有地 裕之 氏

「下水道システムを活用した鮎養殖への挑戦」

◆進行

東京大学下水道システムイノベーション研究室 特任准教授 加藤 裕之 氏

○ 木津川タウンアセットマネージャー養成講座

((一社)日本アセットマネジメント協会)

本セミナーは、まちづくりにおけるグリーンインフラの活用等に焦点を当て、7月8日(木)～8月24日(火)のうちの5日間の予定で行われます。

国土交通省による「グリーンインフラ推進戦略」の公表等を契機に、グリーンインフラに対する社会的関心が高まっています。グリーンインフラの雨水流出抑制効果を活用した浸水対策や合流式下水道の改善等、下水道と密接な関係があるグリーンインフラも多く、まちづくりと調和したグリーンインフラ適用の技術は、下水道のプロフェッショナルにとっても必須のものと再認識されています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

※詳細及び参加申し込みはこちらから。

[https://www.ja-am.or.jp/seminar\\_lecture/202107town\\_am.html](https://www.ja-am.or.jp/seminar_lecture/202107town_am.html)

---

---

【参考情報】

◆ 資源循環型肥料で育てた山田錦の日本酒完成 際立つ香り、口当たり良く  
<6/10 神戸新聞NEXT>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ade5ce791fbc0e624eaa5c7f135e076f1c1c3659>

◆ 大雨で汚水逆流どうすれば…2年続けて街に噴出、有効策なく <6/10 西日本新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/40646d3549cd8f29728afc7694177ac1115812b1>

◆ 高級タワマンだから「水没しない」の大間違い…水害発生時に起こる「想定外すぎるリス



ク」

<6/8 現代ビジネス>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/409d375bd719e7ed29d3965ee73d6eb81572ac6e>

◆ 函館公園に「ポケモン」デザインのマンホール 函館含む7市町に新設へ

<6/10 みんなの経済新聞ネットワーク>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/339c08391233e8eb84fcf1b881a2907e31246995>

◆ 浸水被害防止に「田んぼダム」 実証実験始まる 大分・由布市 <6/9 テレビ大分>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a3c77faaf711b2bbbd4bfc2376b471392994bf3f>

◆ 「浸水想定」及び「土砂災害警戒」区域にある学校は少なくとも3割<6/8 TBS NEWS>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/99bd8a657b49666f20ab1c046a8877abc0f7f5c1>

◆ 社説：学校の水害対策 子の命守る手を尽くせ <6/9 京都新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/23740e002d0064ce03e777d1e20c0bbb352bf808>

◆ 「今年も雨が降るばい」高齢者がジャンプ、大分の気迫の防災ポスター <6/9 朝日新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c061974b626c0d36dc917aea05e63d524ae816d0>

◆ 「骨太の方針」原案 4分野へ重点的に投資 <6/9 日テレNEWS>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8ef09dfcb4f610da5afbadbbcd2924e2b9f813>

◆ 下水中の新型コロナ濃度で感染者数推定、数理モデル構築—東北大ほか

<6/11 QLifePro 医療ニュース>

<http://www.qlifepro.com/news/20210611/covid-19-20.html>

◆ ホーチミン：下水道料金、22年から徴収開始

<6/11 VIETJO ベトナムニュース>

<https://www.viet-jo.com/m/news/economy/210611173827.html>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>